

令和5年度年報

2024. 8

群馬県立土屋文明記念文学館

2023

目次

1 沿革	
(1)沿革	1
(2)令和5年度の主なできごと	2
2 施設概要	4
3 管理運営	
(1)組織及び職員	4
(2)利用者数	5
(3)歳入歳出(決算)の状況	6
(4)修繕	6
(5)備品	6
4 展示活動	
(1)常設展示	7
(2)企画展示	11
(3)移動展	14
(4)ミニ展示	17
(5)特別展示	17
5 教育普及活動	
(1)企画展記念講演会	18
(2)企画展関連行事	19
(3)土屋文明記念文学講座	20
(4)特別イベント	21
(5)群馬県文学賞 受賞記念講演会・受賞作品展.....	22
(6)文明先生推し活講座	23
(7)学校教育との連携	24
(8)地域との連携	26
(9)子ども向け事業	27
(10)ボランティア活動	28
(11)自主学習会	28
(12)広報活動	29
(13)刊行物の発行	31
6 資料収集・調査研究	
(1)資料収集	32
(2)資料の整理・保存管理	32
(3)資料貸出	33
7 利用案内・位置図	
(1)開館時間	34
(2)休館日	34
(3)観覧料	34
(4)施設利用料	34
(5)位置図	35

1 沿革

(1)沿革

1981(昭和56)年	10月	県内文学団体により近代文学館設立期成会議結成
1983(昭和58)年	4月	群馬県教育委員会が昭和58年度予算に文学館建設調査費計上
1985(昭和60)年	12月	近代文学資料等調査検討委員会(20名)を設置
1988(昭和63)年	2月	近代文学資料等調査員(12名)を設置
1990(平成2)年	12月	土屋文明逝去
1991(平成3)年	4月	近代文学資料室を設置
同	7月	土屋文明遺族より群馬町に資料の寄付申込み
同	同	群馬県生涯学習センター内に土屋文明資料展示室設置
同	11月	群馬町から県に「土屋文明記念館」建設の陳情
1992(平成4)年	4月	群馬町に記念文学館建設調整室設置
1993(平成5)年	1月	建設推進委員会(9名)を設置
同	3月	文学館建設基本構想策定
同	4月	群馬県教育委員会文化振興課に建設準備係(5名)設置
1994(平成6)年	2月	都市計画公園事業の大臣認可
同	3月	建築実施設計
同	4月	文学資料整理作業室を県立図書館内に設置
同	12月	上毛野はにわの里公園占用許可
同	同	建築工事開始
1995(平成7)年	12月	建築工事終了
1996(平成8)年	2月	文学資料の移送搬入
同	3月	展示工事完了
同	4月	群馬県立土屋文明記念文学館設置及び管理に関する条例施行
同	同	群馬県立土屋文明記念文学館組織発足
同	7月	伊藤信吉館長就任(※空白期間は群馬県教育委員会事務局幹部職員が兼務)
同	同	開館
1998(平成10)年	5月	天皇皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	8月	『群馬文学全集』全20巻刊行開始(～平成14年度)
2002(平成14)年	8月	伊藤信吉館長逝去
2006(平成18)年	7月	開館10周年記念展「ぐんま文学の森」(12月)ほか
2008(平成20)年	8月	秋篠宮殿下、同妃殿下、眞子内親王行啓
2012(平成24)年	3月	入館者50万人達成
2016(平成28)年	10月	開館20周年記念展「角田柳作とドナルド・キーンー群馬から世界へー」
2020(令和2)年	4月	社会教育に関する教育機関及び文化財保護に関する事務が群馬県教育委員会から 群馬県知事部局に移管
2021(令和3)年	7月	開館25周年記念展「宮沢賢治ーみんなのほんとうのさいわいをさがしにー」

(2)令和5年度の主なできごと

- 4 月 1 日 新年度開始 岡田博文館長就任
- 4 月 15 日 第 119 回企画展「新進気鋭の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界ー」オープン
同 展示解説①
- 4 月 30 日 記念講演会①「何故、歴史小説を書くのか」(武内涼氏)
- 5 月 3 日 スイーツ配布イベント(製作協力:群馬県立勢多農林高等学校)
- 5 月 4 日 ワークショップ「忍者教室」(岩櫃真田忍者ミュージアム にんぱく)
- 5 月 7 日 群馬県立前橋女子高等学校新聞部の生徒が企画展取材で来館
- 5 月 10 日 高崎市立群馬南中学校の生徒が職場体験で来館(5 月 11 日まで)
- 5 月 11 日 「フウセンカズラプロジェクト」開始
- 5 月 12 日 高崎市立高崎経済大学附属高等学校新聞部の生徒が企画展取材で来館(5 月 28 日も)
- 5 月 14 日 記念講演会②「職業としての『作家』」(阿部智里氏)
- 5 月 20 日 展示解説②
- 5 月 22 日 高崎市立中尾中学校の生徒が職場体験で来館(5 月 24、25 日も)
- 5 月 28 日 記念講演会③「友井羊の執筆レシピ」(友井羊氏)
- 6 月 3 日 記念講演会④「いつもそばに物語があった」(如月かずさ氏)
- 6 月 9 日 渋川市立渋川北小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 11 日 展示解説③
- 6 月 18 日 第 119 回企画展「新進気鋭の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界ー」クローズ
- 7 月 1 日 第 120 回企画展「あんびるやすこ作品展」オープン
同 展示解説①
同 高崎北部三館連携協議会三館スタンプラリー開始(8 月 28 日まで)
- 7 月 5 日 群馬県立高崎高等学校の生徒が進路学習で来館
- 7 月 6 日 高崎市立上郊小学校の児童が校外学習で来館(7 月 7 日も)
- 7 月 16 日 ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって写真撮影」①
- 7 月 23 日 講演会&サイン会「とっておきのおはなし」①(あんびるやすこ氏)
- 7 月 30 日 ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって写真撮影」②
- 8 月 5 日 展示解説②
- 8 月 11 日 ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって写真撮影」③
- 8 月 19 日 講演会&サイン会「とっておきのおはなし」②(あんびるやすこ氏)
- 8 月 24 日 中央情報経理専門学校の学生が展示観覧で来館
- 8 月 26 日 ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって写真撮影」④
- 8 月 27 日 展示解説③
- 9 月 3 日 第 120 回企画展「あんびるやすこ作品展」クローズ
- 9 月 4 日 燻蒸(企画展示室)休館(9 月 19 日まで)
- 9 月 26 日 ミュージアムショップの会主催 新・保渡田 2000 番地コンサート「高橋貞春 名曲コンサート」
- 9 月 30 日 第 3 回土屋文明記念文学講座「斎藤家の人々ー祖父斎藤茂吉、父北杜夫、祖母輝子ー」(斎藤由香氏)

同	ミニ展示「斎藤家の人々」オープン(この日のみ)
10 月 7 日	第 121 回企画展「文豪・森鷗外－その生涯、その素顔」オープン
同	展示解説①
10 月 12 日	ミニ展示「追悼 野村たかあき特別展」オープン(12 月 25 日まで)
10 月 15 日	おはなしの会①(おはなしアイアイ)
10 月 22 日	文明先生推し活講座①常設展・企画展を見てみよう
10 月 25 日	群馬県立高崎北高等学校の生徒がインターンシップで来館(10 月 27 日まで)
10 月 28 日	おはなしの会②(苺ばたけ)
10 月 29 日	記念講演会①「歌人鷗外が描いた戦争と恋」(今野寿美氏)
11 月 4 日	特別イベント「はじめての短歌 はじめての落語」(笹公人氏、立川志の彦氏)
11 月 5 日	展示解説②
11 月 8 日	高崎市立群馬中央中学校の生徒が職場体験で来館(11 月 10 日まで)
11 月 12 日	文明先生推し活講座②「文明はなぜ 100 歳まで歌を詠みつづけたのか」(小笠原祐治特別館長)
11 月 19 日	記念演奏会「群馬交響楽団による室内楽コンサート」(群馬交響楽団 弦楽四重奏)
11 月 26 日	文明先生推し活講座③文明ゆかりの地めぐり&文学館のお宝資料を検索！
12 月 3 日	記念講演会②「森鷗外の新しい顔 女性たちのサポーター」(大塚美保氏)
12 月 8 日	高崎市立上郊小学校の児童が施設見学で来館
12 月 9 日	展示解説③
12 月 14 日	群馬県立高崎東高等学校の生徒がインターンシップで来館
12 月 16 日	クリスマス スイーツ配布イベント(協力:明和県央高等学校QOL部)
12 月 17 日	クリスマス ロビーコンサート(泉極氏、神戸圭介氏、神戸道子氏)
同	おはなしの会③(紙芝居だいすきプロジェクト 紙芝居のたね)
12 月 18 日	第 121 回企画展「文豪・森鷗外－その生涯、その素顔」クローズ
1 月 16 日	照明 LED 化更新工事のため休館(3 月 5 日まで)
2 月 11 日	第 61 回 群馬県文学賞 受賞記念講演会・受賞作品ミニ展示(群馬県生涯学習センターにて)
2 月 18 日	文明先生推し活講座④あの文学者の自筆書簡を見てみよう
3 月 8 日	常設展テーマ展示「土屋文明と植物～牧野富太郎資料とともに～」オープン
3 月 20 日	第 4 回土屋文明記念文学講座「空を見つめる短歌」(東直子氏)
3 月 23 日	「フウセンカズラプロジェクト」完結
3 月 31 日	常設展テーマ展示「土屋文明と植物～牧野富太郎資料とともに～」クローズ

2 施設概要

(1)設置の目的

土屋文明の業績を記念し、文学に関する県民の理解を深め、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。

(2)設立

- ・平成8年7月11日開館
- ・平成11年6月3日博物館登録

(3)所在地

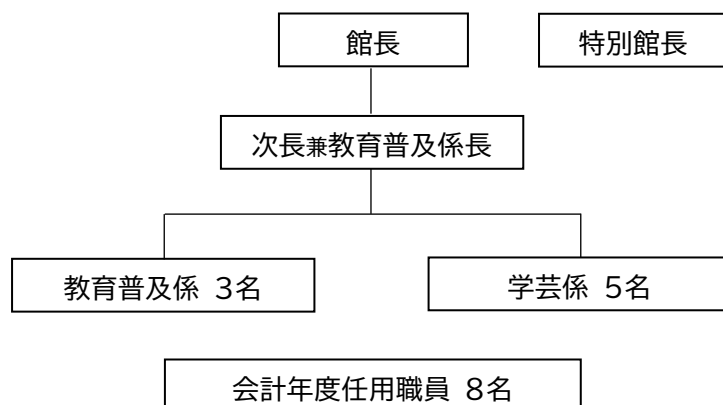
群馬県高崎市保渡田町 2000 番地(上毛野はにわの里公園内)

(4)設備等

- ・用地面積 2,465.61 m²
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造り2階建て
- ・建物面積 延床面積 3,171 m²
- ・主要施設 常設展示室(396.8 m²)、企画展示室(279.5 m²)、映像展示室(65.9 m²)
閲覧室(62.1 m²)、研修室(289.1 m²)、創作室(和室)(43.6 m²)
収蔵庫(152.2 m²)、書庫(222.3 m²)、レストラン、ミュージアムショップ
- ・建設費 約27億円
- ・駐車場 普通車50台、大型バス5台、身障者用2台

3 管理運営

(1)組織及び職員



(2)利用者数

① 入館者数

区分	有料観覧者								無料観覧者						観覧者計 A	教育普及事業			A+B+C	その他施設利用 D	計 A+B+C+D
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通 バス	小計	中学 以下	障害者	減免	引率 介護	招待	小計		館 内 B	館 外 C	計			
	通常	割引	通常	割引																	
年間開館日数 231日間	4,580	403	602	0	43	0	158	5,786	2,060	357	657	280	1,307	4,661	10,447	3,392	22,936	26,328	36,775	4,724	41,499

<企画展>観覧者に常設展(テーマ展示含む)のみの観覧者は含まない

区分	有料観覧者								無料観覧者						観覧者計	教育普及事業企画展関連
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通バス	小計	中学以下	障害者	減免	引率介護	招待	小計		
	通常	割引	通常	割引												
第119回企画展 新進気鋭の作家たち－阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界－ 4/15～6/18 56日間	512	43	27	0	0	0	27	609	147	46	3	34	274	504	1,113	390
第120回企画展 あんびるやすこ作品展 7/1～9/3 57日間	2,576	147	497	0	0	0	50	3,270	1,886	195	82	170	492	2,825	6,095	343
第121回企画展 文豪・森鷗外－その生涯、その素顔 10/7～12/18 63日間	832	161	53	0	0	0	56	1,102	139	93	452	63	489	1,236	2,338	368

② 閲覧室利用者

書庫資料閲覧		複写		調査相談件数			閲覧室利用者数
人数	冊数	件数	枚数	口頭	電話	文書	
21名	411冊	15件	316枚	2件	0件	0件	267名

③ レファレンス

レファレンス件数	うち土屋文明について
39件	11件

④ 貸室等利用者

企画展示室		研修室		和室		総計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
－	－	34件	1,048人	－	－	34件	1,048人

⑤ ホームページアクセス数

年間アクセス件数	一日平均アクセス件数
33,824件	92件

詳細については別記(5.(10)広報活動 参照)

(3)歳入歳出(決算)の状況

(単位:千円)

区分	金額	内容
歳入	4,238	
観覧料	2,414	
施設使用料	1,110	レストラン、研修室等
施設使用光熱水費	373	レストラン
その他	341	書籍販売等
歳出	116,365	
管理運営	98,620	文学館の維持管理
資料展示	10,659	常設展示メンテナンス、企画展示
資料購入	540	
資料管理	4,868	資料保存、情報システム
教育普及活動	1,678	文学講座等教育普及事業

常勤職員の人件費は含まない。

(4)修繕

	修繕項目	工期
1	国旗等掲揚ポール修繕工事	6月5日～6月28日
2	1F 機械室給気ファン改修工事	6月14日～11月14日
3	消防設備及び自動火災報知設備改修工事	7月31日～9月8日
4	消防設備及び自動火災報知設備改修工事	7月31日～9月8日
5	自家発電設備改修工事	8月2日～10月24日
6	2F 喫茶室系統空調設備更新工事	9月25日～11月24日
7	照明 LED 化更新工事	9月21日～3月19日
8	ガラリ改修工事	2月9日～3月25日

(5)備品

主な購入備品

	購入備品	個数
1	大型インクジェットプリンター	1

収集対象資料(図書・雑誌・特別資料等)については別記(6.(1)資料収集 参照)

4 展示活動

(1)常設展示

常設展示室では、歌人・土屋文明(1890－1990)の作品と生涯を紹介し、中央の「短歌の世界」コーナーでは、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』をはじめとした貴重な資料や、『万葉集』時代から近代までの歌人たちの人形により和歌・短歌の世界に触れることができる。

① 土屋文明－その作品と生涯－

文明の作品と生涯をたどる6章で構成されている。

◇ 第1章 榛名山のふもとで育つ－『アカネ』への投稿－

土屋文明は、現在の高崎市保渡田町に生まれ、伯父夫妻に預けられて育ち、上郊尋常小学校から旧制高崎中学校に進学。蛇床子じゃしょうしの名で短歌を発表し同校の国漢教師・村上成之しげゆき へいぎよ(蛎魚)の紹介で、伊藤左千夫を頼って1909(明治42)年4月に上京した。

◇ 第2章 東京から長野へ－短歌と小説と教職と－

上京した年の秋、文明は旧制第一高等学校に入学し、東京帝国大学哲学科に進学後は、山本有三、芥川龍之介、菊池寛などの若き文豪たちと交流し井出説太郎の名で小説も発表した。東京帝国大学を卒業後、1918(大正7)年、島木赤彦の推薦で諏訪高等女学校に赴任、教育者として長野県の諏訪・松本で6年の歳月を過ごした。その後、上京して、1925(大正14)年には第一歌集『ふゆくさ』を出版した。

◇ 第3章 歌壇の中樞に一写生、破調、「思想的抒情詩」－

1930(昭和5)年3月、斎藤茂吉に代わり『アララギ』の編集発行人となり、選歌、校正、雑誌の発送、面会による歌稿の添削、歌評会の設定など精力的に会員を導いた。一方、工場や鉄道などの近代的風物を、極端な字余り、破調で表現するなどを試み、代表作の一つである第三歌集『山谷集』さんごくしゅうを出版する。

◇ 第4章 万葉集研究の継続－自らの足で感じる－

万葉集研究は、『古今和歌集』を攻撃して『万葉集』を賞揚した正岡子規の流れを汲む短歌結社「アララギ」に引き継がれる重要テーマであり、文明は戦中から戦後にかけて万葉ゆかりの地をよく歩き、その成果は4,500首以上ある『万葉集』の全歌注釈である『万葉集私注』(全20巻、1949－1956 年)に結実した。

◇ 第5章 川戸への疎開－敗戦と第二芸術論に抗して－

空襲で青山南町(現・東京都港区南青山)の家を焼失した文明は、1945(昭和20)年6月、吾妻郡原町

川戸(現・東吾妻町)に疎開した。敗戦後の虚無感や、俳句・短歌を芸術以下の「第二芸術」と貶める論調に抗し、短歌や言葉の重要性を擁護する力強い作品を生み出す。自給自足の生活を送りながら、川戸を起点として『アララギ』の復興、地方アララギ誌の創刊などに力を注いだ。

◇ 第6章 東京南青山での日々ー歌壇の最長老にー

1951(昭和26)年11月、疎開地から南青山に戻ってきた文明は、1953(昭和28)年に宮中歌会始の選者となり、『万葉集私注』で芸術院賞を受賞。晩年まで、作歌はもちろん『アララギ』や新聞の選歌にも力を注ぎ、96歳で文化勲章を受章、1990(平成2)年、満100歳で歌に捧げたその生涯を閉じた。

☆ 移築書斎

新居の設計は弟子の歌人で清水建設の設計技師であった近藤芳美が行った。引戸がついた書棚や辞典類を広げるための出窓があり、隣接するサンルームから橙や方竹、川戸の山から移し植えた木などがある庭への出入りが可能であった。当館常設展示室内には、移築した書斎とサンルームが、外光を取り込む形で復元されている。

☆ ほうちく^{ほうちく}の庭

移築書斎の窓の外には、南青山の文明旧宅から24種43本の樹木が当時の配置を参考にして移植され、文明の長女・草子^{かやこ}がこれを「方竹の庭」と名付けた。方竹とは、四角に近い断面を持つ竹、シホウチクのことである。

② 「短歌の世界」コーナー

常設展示室中央部には、伝世尊寺定成筆『新古今和歌集 上』写本(鎌倉時代)をはじめ三大歌集(『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』)から現代短歌に至るまでの貴重な資料を展示している。

それらを取り囲む柱に、中学校、高校の教科書をベースにして当館が独自に選んだ36人の歌人の人形が埋め込まれ、それぞれ1首ずつの短歌を紹介している。

【資料点数】

200点

(①第1章15点、第2章29点、第3章26点、第4章24点、第5章29点、第6章26点、②51点)

※陶板画、書斎の遺品は含まず。

③ 映像展示室

1階ロビーの映像展示室では、5つのテーマから選んでビデオ映像を見ることができる。

- ・「万葉集 東歌紀行」(約 8 分)
- ・「土屋文明 ひととなり」(約 11 分)
- ・「短歌の世界 詠み継がれる歌ごころ」(約 11 分)
- ・「^{いのち}生命の讃歌－山村暮鳥・その詩と生涯－」(約 24 分)
- ・「ぶらり散策－文明と暮鳥－」(約 13 分)

また、映像展示室を企画展に合わせた映像資料上映に使用した。

企画展名	内容等
「新進気鋭の作家たち－阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界－」	阿部智里氏、如月かずさ氏、武内涼氏、友井羊氏 著作書影
「あんびるやすこ作品展」	あんびるやすこ氏 インタビュー映像「あんびるやすこ作品展によせて」
「文豪・森鷗外－その生涯、その素顔」	DVD「新潮社文庫アニメ文学館⑤舞姫・たけくらべ」 (日本アニメーション(株))より 「舞姫」

④ 映像モニターの設置

常設展示室前に映像モニターを設置し、主に「3分でわかる！土屋文明」を常時上映した。ほか、3月より新しく作成した「こんなにすごい！土屋文明」の上映を併せて開始した。

⑤ 木製看板の設置

常設展示室前に木製看板を設置し、移動展「歌人 土屋文明」を紹介した。

⑥ テーマ展示

本年度から開催。常設展示室に収まりきらない土屋文明の魅力や業績を、企画展示室の一室を使って紹介した。

令和 5 年度テーマ「土屋文明と植物～牧野富太郎資料とともに～」

◇ 期間:令和 6 年 3 月 8 日(金)～3 月 31 日(日) (開催日数 21 日)

(※28 日までの日程を延長した。)

◇ 趣旨・内容

植物をこよなく愛し、自らもさまざまな草花を育てた土屋文明。植物を詠んだ短歌作品や愛用の『牧野日本植物図鑑』などの資料を通し、文明の植物に向けられたまなざしに迫るとともに、文明と牧野富太郎博士の交流も紹介した。

また、植物にちなんだ自作短歌を一般募集し、会期中展示した。そのほか、文明が愛したフウセンカズラを職員が育て、収穫のあった種を、観覧者先着100名に配布した。

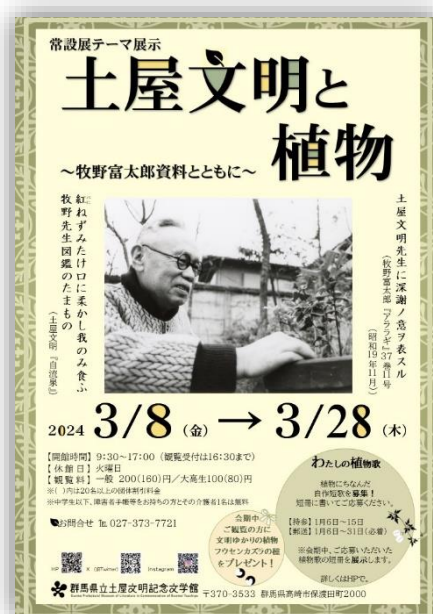
◇ 展示構成

- ・春
- ・夏
- ・秋
- ・冬
- ・その他
- ・土屋文明と牧野博士

◇ 展示資料点数:約 60 点

◇ 主な展示資料

- ・土屋文明短歌幅「青き時」
- ・土屋文明短歌風呂敷額「にんじんは」
- ・土屋文明歌稿「植物園にて」
- ・牧野富太郎著『牧野新日本植物図鑑』
- ・牧野富太郎肖像写真パネル(画像提供:高知県立牧野植物園)
- ・牧野富太郎植物画パネル(画像提供:高知県立牧野植物園)



(2)企画展示

① 第 119 回企画展「新進気鋭の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界ー」

◇ 期間:令和 5 年 4 月 15 日(土)~6 月 18 日(日) (開催日数 56 日)

◇ 趣旨・内容

群馬県で生まれ育ち、第一線で活躍している4人の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊。

烏に転身する種族が紡ぐ世界、子どもの心にそっと寄り添う世界、忍びが活躍し妖怪が跋扈する世界、現代の様々な心の問題に立ち向かう世界……。その独自の作品世界は、多くの人々を魅了し続けている。

本展では、4作家の執筆資料や愛用の道具などを多数展示するとともに、作家自身やそれぞれの作品、執筆にまつわるエピソードや感銘を受けた文学作品などを紹介し、その作品世界が生み出される背景に迫った。

◇ 展示構成

- I.阿部智里の世界
- II.如月かずさの世界
- III.武内涼の世界
- IV.友井羊の世界

◇ 展示資料点数:約 150 点

◇ 主な展示資料

- ・阿部智里著『烏に単は似合わない』
- ・貼り絵(阿部智里氏蔵)
- ・如月かずさ著『ミステリアスセブンスー封印の七不思議』
- ・自作絵本『ぞうさんのぼうし』(如月かずさ氏蔵)
- ・武内涼著『忍びの森』
- ・「月山富田城之図」ラフスケッチ(武内涼氏蔵)
- ・友井羊著『僕はお父さんを訴えます』
- ・羊の置物(友井羊氏蔵)



② 第120回企画展「あんびるやすこ作品展」

◇ 期間:令和5年7月1日(土)～9月3日(日) (開催日数 57 日)

◇ 趣旨・内容

群馬県出身のあんびるやすこは、「なんでも魔女商会」「ルルとララ」「魔法の庭ものがたり」といったシリーズの話と絵の両方を手がける児童文学作家である。

本展では、各作品の原画をはじめ、登場キャラクターの紹介や、制作過程がうかがえるスケッチ、作家愛用の道具などを展示。あんびるやすこが生み出す作品の魅力に迫った。

◇ 展示構成

- I. 絵本作品その他
- II. 『ムーンヒルズ魔法宝石店』
- III. 『ルルとララ』
- IV. 『なんでも魔女商会』
- V. 『魔法の庭ものがたり』

◇ 展示資料点数:約 150 点

◇ 主な展示資料

- ・作家愛用品 水溶性色鉛筆
- ・作家愛用品 水溶性クレヨン
- ・作家生活初期の作品原画
- ・『ムーンヒルズ魔法宝石店』シリーズ原画
- ・『ルルとララ』シリーズ原画
- ・『なんでも魔女商会』シリーズ原画
- ・『魔法の庭ものがたり』シリーズ原画

(以上あんびるやすこ氏蔵)



③ 第121回企画展「文豪・森鷗外―その生涯、その素顔」

◇ 期間:令和5年10月7日(土)~12月18日(月) (開催日数63日)

◇ 趣旨・内容

「舞姫」、「山椒大夫」、「高瀬舟」など数々の作品を生み出した文豪・森鷗外(1862-1922)の生涯と作品を、他の文学者や家族とのさまざまなエピソードとともに紹介。

伊藤左千夫や斎藤茂吉など、歌人たちとの関わりや、土屋文明、田山花袋、萩原朔太郎、玉村町出身の羽鳥千尋など、群馬県ゆかりの人々とのエピソードも取り上げ、鷗外の人物像に迫った。

◇ 展示構成

- I. 森鷗外の生涯
 - 1. 津和野での日々、そして東京へ
 - 2. 若き医学士の誕生
 - 3. 西欧の思想文化に触れたドイツ留学
 - 4. 文壇への登場
 - 5. 静かに力を蓄えた小倉時代
 - 6. 日露戦争を経て
 - 7. 鷗外文学の豊かな実り
 - 8. 晩年の鷗外
- II. 鷗外とその周辺
 - 1. 観潮楼歌会に集った人々
 - 2. 群馬出身の人々との交流
 - 3. 家族の中の鷗外



◇ 展示資料点数:約80点

◇ 主な展示資料

- ・森鷗外原稿「舞姫」(複製)
- ・森鷗外原稿「霞亨生涯の末一年」(文京区立森鷗外記念館蔵)
- ・森鷗外葉書 森杏奴宛 大正7年11月4日付(文京区立森鷗外記念館蔵)
- ・森鷗外旧蔵 双六盤(文京区立森鷗外記念館蔵)
- ・森鷗外旧蔵 萩原朔太郎献呈 萩原朔太郎著『月に吠える』(東京大学総合図書館蔵)
- ・斎藤茂吉原稿「観潮楼断片記」(県立神奈川近代文学館寄託)
- ・羽鳥千尋書簡 森鷗外宛 明治43年7月29日付(公益財団法人日本近代文学館蔵)

(3)移動展

当館の展示資料を利用して、市町村、市町村施設(図書館、公民館等)、大学、学校等が主催し、当館が共催して移動展を開催した。

① 展示内容一覧(資料点数)

展示名	展示内容	資料点数
A 夢みる女性誌	明治から昭和30年代までの女性誌の変遷を通じて、女性誌のあり方、求められた女性の生き方などを紹介。	・雑誌と付録 242 点 ・パネル、バナー A3～B5判 42 点
B ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・約 150 点
C 紙芝居	紙芝居は、昭和5年頃に「黄金バット」「鞍馬天狗」などの街頭紙芝居として登場した日本特有の文化財。本展では、紙芝居のルーツを辿り、街頭紙芝居から教育紙芝居、外国人向け紙芝居など様々な紙芝居とその歴史を紹介。	・約 100 点
D 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・約 100 点 ・51 人×2枚 ・パネル100cm×90 cm
E 山村暮鳥 真実に生きようとするもの	「いちめんのなのはな」のフレーズを繰り返す「風景 純銀もざい」や「雲」の詩などで知られる詩人・山村暮鳥(1884-1924)は、現在の群馬県高崎市に生まれた。病と貧困に苦しみながらも、真実に生きることを求め続けた山村暮鳥について紹介。	・約 120 点
F 詩人 大手拓次 孤独の箱のなかから	群馬県安中市磯部出身の大手拓次(1887-1934)は、大学時代、フランス象徴詩との出会いを経て自らの詩論を確立。その口語による象徴詩は北原白秋や萩原朔太郎から高く評価された。孤独に、そして一途に最上の詩を求め続けたその詩業を紹介。	・約 100 点
G 文学者の書一筆に込められた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたための短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・約 90 点

H パネル いのちのえほん	平成13年に群馬県で開催された第16回国民文化祭の事業の1つとして詩画集『いのちのえほん』が発行された。特別支援学校に通う児童生徒が制作した絵画や立体作品に、松谷みよ子や永六輔ら著名人が詩やエッセイを寄せ、作品が収録された。本展では、これら全作品を印刷パネルにして紹介。	・パネル 122 点 ・パネルサイズ 22cm×60cm ・アルミ枠額装済
I パネル 童謡のふるさと 石原和三郎の世界	本展では、「うさぎとかめ」「はなさかじい」などの作詞で知られる勢多郡花輪村(現・みどり市)出身の石原和三郎を取り上げ、その多岐にわたる業績と生涯を豊富な写真と解説文(読みがな付)で紹介。	・B2パネル 19 点 ・アルミ枠額装済
J パネル 夭折の詩人 長澤延子 と中沢清	17歳と22歳という若さで亡くなった群馬県出身の2人の詩人、長澤延子(1932-1949)と中沢清(1932-1956)を取り上げる。昭和20年代に青春を過ごした2人は、それぞれ人生に真剣に向き合い、優れた詩を残した。本展では、2人の詩と人生を自筆資料(複製)を交えて紹介。	・B2パネル 12 点 ・アルミ枠額装済 ・原稿ノートの複製資料、約 30 点
K パネル 襄と八重の上州	「上毛かるた」でおなじみの新島襄(安中藩出身)とその妻・八重の群馬との関わりや、襄の精神を受け継いで各分野で活躍した人々(湯浅治郎、柏木義円、湯浅半月等)の業績を紹介。	・B2パネル 20 点 ・アルミ枠額装済
L パネル 文学者の書一筆に込め られた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたための短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・B2パネル 25 点 ・アルミ枠額装済 ・紐付き
M パネル 現代歌人27人が選ぶ 土屋文明短歌	令和2年度に開催した土屋文明生誕130年没後30年記念展の特別企画として作成したもの。俵万智、永田和宏など現在活躍する27人の歌人が土屋文明の秀歌を選び解説する。	・短歌ポンジ 24 点 150cm×30 cm ・A1パネル 27 点 解説、プロフィール
N タペストリー ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・タペストリー17 点 180cm×60cm プロフィール
O パネル 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・パネル 51 点 100cm×90cm 詩作品、プロフィール

P パネル 歌人 土屋文明	歌人土屋文明について主な業績を中心に紹介。写真やイラストを多用した親しみやすいつくりになっている。	・B2パネル 6 点 ・アルミ枠額装済
Q パネル 怪談－こわい話に花が咲く	明治大正期を中心に文豪怪談を紹介。夏目漱石、小泉八雲、芥川龍之介、谷崎潤一郎、室生犀星、宮沢賢治らの怪談作品を一部抜粋したもの。	・パネル A3～A1、変型 約 40 点(25 作品)

※ H～Q のパネル展は、学校・図書館等の一般施設でも展示できるよう工夫した。壁面展示に最適

※ A・G・H・L～Q は分割展示可能

※ D はパネルのみの展示も可

② 開催実績

展示名	開催期間	展示会場(施設名)	入場者数
ぐんま文学の森(タペストリー)	2023/3/4～4/2	みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	83名
童謡のふるさと 石原和三郎の世界(パネル)	4/29のみ	みどり市童謡ふるさと館	250名
紙芝居	5/1～7/28	渋川市徳富蘆花記念文学館	1,183名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	8/2～8/31	山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・徳富蘇峰館	445名
ぐんま文学の森(タペストリー) 群馬の詩人(パネル)	8/3～8/22	前橋市桂萱公民館	600名
歌人 土屋文明(パネル)	8/25～10/25	福井県ふるさと文学館	12,685名
童謡のふるさと 石原和三郎の世界(パネル)	8/26～11/12	みどり市グンエイホール PAL (笠懸野文化ホール) みどり市童謡ふるさと館 みどり市東公民館	2,500名
夢見る女性誌	10/1～11/24	渋川市徳富蘆花記念文学館	1,005名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	10/10～11/17	群馬県立利根実業高等学校	324名
歌人 土屋文明(パネル)	10/27～11/29	高崎市榛名図書館	2,940名
群馬の詩人(パネル)	11/22～12/22	群馬県立利根実業高等学校	324名
合計			22,339名

(4)ミニ展示

展示名	開催期間	内容	点数
斎藤家の人々	9/30	第3回土屋文明記念文学講座「斎藤家の人々ー祖父斎藤茂吉、父北杜夫、祖母輝子ー」に合わせて、斎藤茂吉や北杜夫の直筆資料等を展示した。	7点
追悼 野村たかあき特別展	10/12～12/25	7月29日に死去(10月11日発表)された野村たかあき氏の直筆資料や著書、写真パネルを展示した。	6点
群馬県文学賞受賞作品展	2/11	令和5年度第61回群馬県文学賞受賞者6名の作品を展示した。	12点



斎藤家の人々



追悼 野村たかあき特別展



(5)特別展示

本年度は開催なし。

5 教育普及活動

(1)企画展記念講演会 ※サイン会実施

企画展名	開催日	演題・講師	受講者数
第 119 回企画展 「新進気鋭の作家たち－阿部智里・ 如月かずさ・武内涼・友井羊の世界 －」	4/30(日)	「なぜ歴史小説を書くのか」※ 武内涼氏(作家)	76名
	5/14(日)	「職業としての『作家』」※ 阿部智里氏(作家)	104名
	5/28(日)	「友井羊の執筆レシピ」※ 友井羊氏(作家)	61名
	6/3(土)	「いつもそばに物語があった」※ 如月かずさ氏(児童書作家)	55名
第 120 回企画展 「あんびるやすこ作品展」	7/23(日)	「とっておきのおはなし」①※ あんびるやすこ氏(児童文学作家)	115名
	8/19(土)	「とっておきのおはなし」②※ あんびるやすこ氏(児童文学作家)	122名
第 121 回企画展 「文豪・森鷗外－その生涯、その素 顔」	10/29(日)	「歌人鷗外が描いた戦争と恋」 今野寿美氏(歌人)	69名
	12/3(日)	「森鷗外の新しい顔 女性たちのサポーター」 大塚美保氏(聖心女子学教授)	85名
合計			687名



武内涼氏(4/30)



阿部智里氏(5/14)



友井羊氏(5/28)



あんびるやすこ氏(7/23・8/19)



今野寿美氏(10/29)



大塚美保氏(12/3)

(2)企画展関連行事

企画展名	開催日	行事・講師等	受講者数
第119回企画展 「新進気鋭の作家たちー阿部 智里・如月かずさ・武内涼・ 友井羊の世界ー」	5/3(水・祝)	スイーツ配布イベント 製作協力:群馬県立勢多農林高等学校	50名
	5/4(木・祝)	ワークショップ「忍者教室」 岩櫃真田忍者ミュージアム にんぱく	44名
第120回企画展 「あんびるやすこ作品展」	7/16(日)	ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって 写真撮影」①	25名
	7/30(日)	ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって 写真撮影」②	25名
	8/11(金・祝)	ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって 写真撮影」③	27名
	8/26(土)	ワークショップ「おさいほう魔女“シルク”になって 写真撮影」④	27名
第121回企画展 「文豪・森鷗外ーその生涯、 その素顔」	11/19(日)	「群馬交響楽団による室内楽コンサート」 群馬交響楽団 弦楽四重奏	105名
	12/16(土)	クリスマス スイーツ配布イベント 協力:明和県央高等学校QOL部	37名
	12/17(日)	クリスマス ロビーコンサート 泉極氏、神戸圭介氏、神戸道子氏	72名
合計			412名



忍者教室(5/4)



おさいほう魔女“シルク”になって写真撮影
(7/16・7/30・8/11・8/26)



群馬交響楽団による室内楽コンサート
(11/19)



クリスマススイーツ配布イベント
(12/16)



クリスマスロビーコンサート
(12/17)

(3)土屋文明記念文学講座

土屋文明の業績を記念し、短歌をはじめとする様々な文学をテーマに講演会を開催した。

回	開催日	講師	演題	受講者数
第3回	9/30 (土)	斎藤由香氏 (斎藤茂吉孫、北杜夫長女、エッセイスト)	「斎藤家の人々ー祖父斎藤茂吉、父北杜夫、祖母輝子ー」	99名
第4回	3/20 (水・祝)	東直子氏 (歌人、歌誌『かばん』所属)	「空を見つめる短歌」	111名
合計				210名



第3回 斎藤由香氏(9/30)



第4回 東直子氏(3/20)

(4)特別イベント

短歌、落語、それぞれ初めての方も入門として楽しみながら学べるコラボイベントを開催した。

開催日	講師	演題	受講者数
11/4(土)	笹公人氏 (歌人、『未来』選者、大正大学客員 准教授、和光大学非常勤講師) 立川志の彦氏 (落語家、立川志の輔一門)	「はじめての短歌 はじめての落語」 第1部 笹公人 講演「短歌と私」 第2部 立川志の彦 爆笑落語会 第3部 笹公人 立川志の彦 爆笑トークショウ	106名



(5)群馬県文学賞受賞記念講演会・受賞作品展

「群馬県文学賞」は、群馬県における文学活動の振興を図るため、1年間の文学各部門の創作活動の中から、特に優れた作品を選奨している。本年度は群馬県生涯学習センターにて受賞記念講演会と受賞作品のミニ展示を行った。

◇ 受賞記念講演会

令和5年度第61回群馬県文学賞受賞者6名のうち3名が下記のとおり講演した。

部門	受賞者	受賞作品・演題	開催日	受講者数
短歌	岸恵美子氏	受賞作品「宇宙との交信」(30首) 演題「短歌とわたし」	2/11 (日・祝)	71名
俳句	須藤恵美氏	受賞作品「初鏡」(30句) 演題「俳句と歩む」		
詩	原田鰐氏	受賞作品「 ^{いつも} 何時通り(Itsumo St.)、ミッキーバルーン、風まかせ、ラブソディー、月極 P」 演題「自作を語る」		

◇ 受賞作品展

展示名	開催期間	内容	点数
第61回 群馬県文学賞受賞作品展	2/11 (日・祝)	受賞者6名(黒沢正則氏受賞作品『広域蜂起秩父事件 群馬県人が秩父を動かした・世界遺産「高山社」』、石橋紀子氏受賞作品「風の野を歩けば」、保利まゆこ氏受賞作品「しぶい柿」を含む)の色紙・図書・作品パネルを展示した。	12点



(6)文明先生推し活講座

本年度から、土屋文明の業績を広く周知し、ファンを増やすために新たに開催し、文学の研究に当館を活用してもらうことを期待するもの。本年度は、群馬県立女子大学及び高崎経済大学の学生を対象に実施し、若い世代への周知を図るとともに、大学生からの情報発信を依頼した。

回	開催日	内容	受講者数
第1回	10/22(日)	常設展・企画展を見てみよう	4名
第2回	11/12(日)	講座「文明はなぜ100歳まで歌を詠みつづけたのか」 (小笠原祐治特別館長)	2名
第3回	11/26(日)	文明ゆかりの地めぐり&文学館のお宝資料を検索！	5名
第4回	2/18(日)	あの文学者の自筆書簡を見てみよう	6名
合計			17名



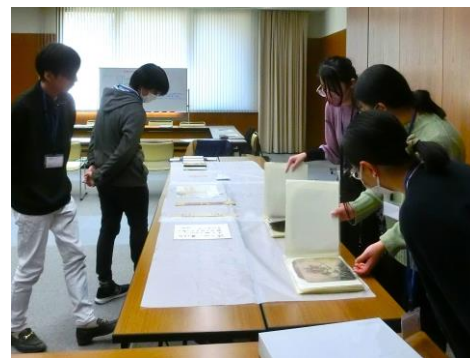
第1回(10/22)



第2回(11/12)



第3回(11/26)



第4回(2/18)

(7)学校教育との連携

① 短歌教室

著名な歌人を招き、学校で短歌についての授業を行う事業。

令和5年度「歌人が学校に！～選歌と講評から学ぶ～」実施校

学校	講師	学年	開催日	参加者数
玉村町立芝根小学校	笹公人氏	6 学年 1 学級	10/4(水)	33名
高崎市立上郊小学校	笹公人氏	4 学年 2 学級 5 学年 1 学級	10/6(金)	91名
神流町立中里中学校	東直子氏	2 学年 1 学級	10/11(水)	4名
上野村立上野中学校(リモート)		2 学年 1 学級		5名
南牧村立南牧中学校(リモート)		2 学年 1 学級		4名
館林市立第七小学校	佐佐木頼綱氏	6 学年 1 学級	10/18(水)	21名
桐生市立新里中学校	佐佐木頼綱氏	2 学年 4 学級	10/19(木)	133名
高崎市立多胡小学校	笹公人氏	5 学年 1 学級 6 学年 2 学級	10/27(金)	15名
前橋市立月田小学校 10/23(月)電車トラブルにより来館できず中止 11/6(月)書面にて開催	東直子氏	4 学年 1 学級 5 学年 1 学級 6 学年 1 学級	11/6(月)	39名
伊勢崎市立四ツ葉中等教育学校	佐佐木頼綱氏	2 学年 4 学級	11/8(水)	128名
高崎市立西部小学校	笹公人氏	5 学年 2 学級	11/22(水)	53名
合計				526名

② 学校団体等の受入 ※引率者を除く

学校	内容	開催日	人数
群馬県立前橋女子高等学校	新聞部取材	5/7(日)	5名
高崎市立群馬南中学校(2学年)	職場体験	5/10(水)、11(木)	4名
高崎市立高崎経済大学附属高等学校	新聞部取材	5/12(金)、28(日)	4名
高崎市立中尾中学校(2学年)	職場体験	5/22(月)、24(水)、25(木)	4名
渋川市立渋川北小学校(6学年)	常設展・企画展観覧、 短歌の授業	6/9(金)	61名
群馬県立高崎高等学校(2学年)	進路学習	7/5(水)	4名
中央情報経理専門学校	企画展観覧	8/24(木)	2名
群馬県立高崎北高等学校(1学年)	進路学習	10/25(水)～27(金)	1名
高崎市立群馬中央中学校(2学年)	職場体験	11/8(水)～10(金)	4名
群馬県立高崎東高等学校(1学年)	進路学習	12/14(木)	2名
合計			91名

③ 高崎市立上郊小学校との連携

開催日	実施内容	学年	人数
7/6(木)	歌碑見学、短歌の授業を実施	4学年・ 特別支援学級	54名
7/7(金)	短歌の授業を実施	5学年・ 特別支援学級	37名
12/8(金)	施設見学を実施	2学年・ 特別支援学級	48名
合計			139名

(8)地域との連携

① 高崎北部地区三館との連携

かみつけの里博物館(高崎市立)、日本絹の里(県立)と連携。「はにわとシルクと文学の高崎北ミュージアムトライアングル」として三館イベントカレンダーを作成しロビーに掲示、三館スタンプラリー、企画関係職員情報交換会などを実施した。

また、日本絹の里及び当館において、相互の観覧料2割引券を発行した。

◇ 三館スタンプラリー

7月1日～8月28日で実施。三館を観覧した方に景品として、三館の招待券及び各館オリジナルプレゼントを贈呈した。

◇ 三館連携協議会の開催状況

開催日	議題	会場
6/7(水)	・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画案	当館
11/2(木)	・企画関係職員情報交換	日本絹の里
2/28(水)	・令和5年度事業執行状況報告 ・令和6年度事業計画素案	かみつけの里博物館

② 高崎市文化協会群馬支部との連携

イベント名及び開催日	内容等
暮鳥・文明まつり 12/10(日)	当館にて開催。本年度のテーマは「笑顔」。 テーマに合わせた暮鳥の詩、文明の短歌を当館職員が選び、『入賞作品集』に解説を執筆。当日は当館において群馬県立土屋文明記念文学館長賞の授与及び挨拶を行った。

③ 地域のイベントへの参加

イベント名及び開催日	内容等
ぐんま「はにわの里」夏まつり 8/20(日)	企画展の周知及びぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。
かみつけの里古墳祭り 10/15(日)	企画展と「おはなしの会」の周知及び、ぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。

(9)子ども向け事業

① 絵本のひろば

平成23(2011)年4月1日から絵本コーナーとして稼働し、平成24年度にこの名称となった。

1階ロビーに設置され、絵本に囲まれた空間で、靴をぬいで絵本を読むことができる。

第120回企画展「あんびるやすこ作品展」会期中、あんびる氏の著書を配置した。また、「追悼 野村たかあき特別展」開催中、野村氏の著書を配置した。

② 常設展関連

常設展を見学しながら答えるワークシート(クロスワードクイズ)を用意。参加者にはシールを贈呈した。

テーマ展示「土屋文明と植物～牧野富太郎資料とともに～」もワークシート(クロスワードクイズ、お名前クイズ)を用意。参加者にはポストカードを贈呈した。また、職員の育てたフウセンカズラの種を観覧者先着100名に配布した。

③ 企画展関連

企画展ごとにワークシートを用意。参加者にはしおりやポストカードを贈呈した。

企画展名	内容等
「新進気鋭の作家たち－阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界－」	クロスワードクイズ、ぬりえ
「文豪・森鷗外－その生涯、その素顔」	クロスワードクイズ、文字さがし

(10) ボランティア活動

① 活動分野

- ・ミュージアムショップ…… ミュージアムショップの運営など
- ・ティーサービス……… 和室での抹茶や煎茶のサービス
- ・環境美化……… 清掃など
- ・広報……… 勤務先や近所などへの当館事業の広報、宣伝
- ・おはなしの会……… 当館が実施する文学に親しむためのイベント等において、紙芝居の上演や絵本の朗読などを行う
- ・交通整理誘導……… イベントの際の駐車場の整理誘導

② ボランティア活動状況

◇ 登録者数155名(令和5年度末現在)

◇ 活動実績

活動分野	活動実績
ミュージアムショップ	毎月1回の定例会の開催、商品の棚卸し・整理をした。9/26、新・保渡田2000番地コンサート「高橋貞春 名曲コンサート」を開催した(162名)。
ティーサービス	休止
環境美化	駐車場等の草刈りを行った。
広報	企画展のチラシ等を配布して広報活動を行った。
おはなしの会	「おはなしの会」を行った。10/15 おはなしアイアイ(8名)、10/28 苺ばたけ(16名)、12/17 紙芝居だいすきプロジェクト 紙芝居のたね(40名)。
交通整理誘導	イベントの際の駐車場の整理誘導を行った。

(11) 自主学習会

原則、年10回開催。

学習会名	講師	受講者数
県立文学館 短歌の会	田村 ^{はじめ} 元氏 (歌人、『NHK 短歌』令和3年度選者、「りとむ」所属)	19名
県立文学館 短歌相互学習会		15名
県立文学館 はじめての俳句	鈴木 ^{しょうわ} 章和氏 (俳人、NHK学園専任講師・NHK ラジオ「文芸選評」選者、 「 ^{かわせみ} 翡翠」主宰)	17名
県立文学館 俳句学習会		9名
県立文学館 章和俳句会		13名
県立文学館 翠句会		10名

県立文学館 詩の講座	関口将夫氏（詩人、画家）	12名
県立文学館 絵手紙の会	福田登美恵氏（日本絵手紙協会公認講師）	16名
県立文学館 古典学習会 源氏物語購読「若紫」を読む	吉永哲郎氏（源氏物語を読む「 ^{すおう} 蘇芳の会」主宰）	70名
合計		181名

（12）広報活動

① 企画展ポスター・チラシ配布

年3回開催する企画展に合わせて、開催の3週間前に関係機関に配布して広報した。

（配布先）

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内報道機関、県内観光施設等

② 「施設概要・令和6年度事業案内」配布

年度末に配布して、翌年度の企画展や各種イベント等の事業について広報した。

（配布先）

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内報道機関、県内観光施設等

③ 県メディアプロモーション課関係広報

県メディアプロモーション課が所管する広報媒体「ぐんま広報」を通じて、企画展や各種イベント情報について広報した。

④ 県内報道機関への PR

県内報道機関に、企画展や講演会などのイベント情報を提供・取材してもらい、新聞等の活字メディアやテレビ・ラジオ等の電波媒体で報道してもらうよう努めた。

（主な報道機関等）

朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社（ぱれっと編集室、TAKATAI 編集室含む）、桐生タイムス社、朝日ぐんま、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、まえばし CITY エフエム等

⑤ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、短歌関連雑誌等の広報誌に情報提供した。

⑥ 刊行物の配布

企画展図録等について、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館等に配布した。

⑦ 公式ホームページ

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント申込受付、通信販売受付
- ・「特別館長日記」更新
- ・所蔵資料検索

⑧ 公式 Instagram

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・学校連携事業の報告
- ・フウセンカズラ観察日記
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・投稿件数：136件（企画展55件、常設展42件、特別展示0件、資料・書籍0件、館一般39件）
- ・フォロワー数：578人（令和6年3月末現在・令和4年度末から92人増）

⑨ 公式 X(Twitter)

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・東京事務所 X(Twitter)コラボキャンペーン
- ・学校連携事業の報告
- ・フウセンカズラ観察日記
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・ゆかりの文学者の命日・誕生日情報など
- ・投稿件数：323件（企画展164件、常設展65件、特別展示1件、資料・書籍0件、館一般93件）
- ・フォロワー数：1,960人（令和6年3月末現在・令和4年度末から954人増）

※東京事務所 X(Twitter)コラボキャンペーン(8/20～9/3)で 1,186 人増

⑩ 群馬県公式 YouTube チャンネル tsulun0s で動画公開 ※いずれも期間限定

- ・坂井修一氏講演 「戦争と短歌」
- ・阿部智里氏講演 「職業としての『作家』」
- ・友井羊氏講演 「友井羊の執筆レシピ」
- ・今野寿美氏講演 「歌人鷗外が描いた戦争と恋」
- ・斎藤由香氏講演 「斎藤家の人々ー祖父斎藤茂吉、父北杜夫、祖母輝子ー」
- ・土屋安見氏講演 「祖父・土屋文明の思い出」

(13)刊行物の発行

種類	名称	規格	部数
図録	第119回企画展 「新進気鋭の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界ー」	A4判 24ページ	1,000 部
	第121回企画展 「文豪・森鷗外ーその生涯、その素顔」	A4判 24ページ	1,000 部
紀要	令和5年度 紀要「風」 27号	A4判 46ページ	500 部
チラシ・ポスター	第119回企画展 「新進気鋭の作家たちー阿部智里・如月かずさ・武内涼・友井羊の世界ー」	チラシ A4判(両面) ポスター B2判	28,000 部 400 部
	第120回企画展 「あんびるやすこ作品展」	チラシ A4判(両面) ポスター B2判	28,000 部 400 部
	第121回企画展 「文豪・森鷗外ーその生涯、その素顔」	チラシ A4判(両面) ポスター B2判	40,000 部 500 部
他	令和6年度事業案内	両観音折り	20,000 部
	常設展示用パンフレット	A5判 16ページ	1,000 部
	周辺散策マップ	A3判(両面)	500 部
	土屋文明クリアファイル	A4判	1000 部

6 資料収集・調査研究

(1) 資料収集

(令和5年度末現在)

資料区分	購入	寄附	その他(製作等)	5年度合計	収蔵資料合計
特別資料	0	119	0	119	31,925
雑誌・図書	295	872	0	1,167	177,509
視聴覚資料	0	0	0	0	256
5年度合計	295	991	0	1,286	
収蔵資料合計	48,225	159,916	1,553		209,694

※合計点数は登録作業済の点数。

◇ 主な購入資料

- ・雑誌『新著百種』12号(森鷗外著「文づかひ」収録)
- ・森鷗外著『うた日記』、『雁』、『高瀬舟』

◇ 主な寄附資料

- ・雑誌『葱』2～17号 13点
- ・雑誌『アララギ』36巻7号～46巻1号 24点
- ・野村たかあき木版画集「少年だった頃のまちの風」16枚組1点
- ・原一雄旧蔵資料 土屋文明短歌幅「諸共に」、狩野探幽画幅「雪舟筆蘆雁図模写」等115点

(2) 資料の整理・保存管理

① 資料整理

収集した資料等について、調査、登録(資料保存のための装備)、画像データ化(スキャニング・写真撮影を含む)などの作業を行った。

② 保存管理

◇ 施設燻蒸

虫菌害防止対策として、収蔵施設(①収蔵庫・書庫)と展示施設(②常設展示室・③企画展示室)の燻蒸

を3年に一度実施している(年1回)。

本年度は、展示施設(企画展示室)の燻蒸を実施した。

◇ 資料燻蒸

令和5年度9月までに収蔵した資料については、施設燻蒸のときに合わせて実施した。

10月以降に収集した資料については、高崎倉庫株式会社に依頼し、実施した。

◇ 日常管理

書庫、展示室の状況について、毎日(朝・夕)見回りして確認している。

収蔵庫・書庫、展示室の温湿度計の計測記録について、週に1回確認している。

◇ 資料修理

雑誌『三田文学』6点、谷崎潤一郎訳『源氏物語』桐箱、萩原朔太郎著『氷島』函、『萩原朔太郎詩集』函の修理を行った。

(3)資料貸出

次の3件81点の資料について、借用の申請に基づき貸出を承認した。

貸出資料名	展覧会名	開催期間	展示会場(施設名等)
雑誌『アカネ』など (3点)	温泉大国ぐんま	10/7～11/26	群馬県立歴史博物館
雑誌『婦女子』、雑誌『少女世界』 など (74点)	少女たちのお手紙文化1890-1940展 ～変わらぬ想いは時を超えて～	2024 1/20～3/24	町田市民文学館ことばらんど
萩原朔太郎河野慎吾宛書簡など (4点)	「青猫」刊行100年記念展 BLUE MELANCHOLIE-『青猫』が『定本青猫』に辿りつくまで	2024 1/27～5/26	萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館

※移動展の資料貸出を除く。

7 利用案内・位置図

(1)開館時間

午前9時30分から午後5時まで(観覧受付は午後4時30分まで)

※ただし第1～第3研修室及び和室は午前9時30分から午後9時まで

(2)休館日

- ① 火曜日(祝日の場合は翌日、4月29日から5月5日までの間及び8月15日を含む週を除く)
- ② 年末年始(12月26日から翌年1月5日まで)
- ③ 企画展前後の展示替期間
- ④ 燻蒸や工事などの臨時休館日

(3)観覧料

・常設展 一般200円、大高生100円

・企画展 一般500円、大高生250円

※20名以上の団体は2割引

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名、群馬県民の日(10月28日)は無料

(4)施設利用料

文学関係行事等に利用できる。

区分		午前	午後	夜間	1日
		9:30～12:30	13:00～17:00	17:00～21:00	9:30～21:00
施設	企画展示室	2,640円	3,550円	—	6,190円
	第1研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第2研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第3研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	和室	610円	830円	830円	2,270円

※付属設備を使用する場合は、別に利用料が必要。

(5)位置図



※公共交通機関

① バス

- ・高崎駅西口2番乗り場から群馬バス「しんとう温泉・榛東村役場」行→「保渡田」下車
- ・前橋駅北口5番乗り場から関越交通バス「土屋文明文学館」行→終点「土屋文明文学館」下車

② タクシー

- ・高崎駅西口から約20分
- ・高崎問屋町駅西口から約15分
- ・新前橋駅西口から約15分